

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ懇談会(もりこん) 150		
タイトル	アメリカ・東南アジアの植生について		
実施日時	平成30年2月15日(木) 18:45~20:45		
実施場所	船橋中央公民館第2集会室		
受講者	9名	FIC会員	9名

活動の内容

講師は千葉県森林インストラクター会の樹木医でもある関隆夫さん。
 アメリカはカリフォルニアにあるセコイア・キングスキャニオン・ヨセミテ・デスバレー各国立公園と東南アジアはカンボジア、ミャンマー、ベトナムなどの植生を豊富なサンプルを含めお話をいただいた。前者は乾燥地帯で果樹はブドウ、ピスタチオ、オレンジなどが有り灌漑用水が必須、植物はマツ科、ヒノキ・スギ科などの乾燥に強い過酷な条件で育つ植生が特徴、後者は逆に熱帯雨林の条件でランブータン、リュウガン、ライチなどムクロジ科の果樹を中心に多種多様。植生もマメ科、クワ科などが多くそれぞれの環境に応じた植物の戦略が垣間見えて大変興味深い内容となった。

・セコイア・キングスキャニオン国立公園などではトレイル上にセンチネルツリーなどジャイアントセコイアの巨木の森はもちろんその倒木をくり抜いたトンネルや小屋なども有り楽しめる。また、ジェフリーパインは樹皮からケーキのような甘い香りをだしているのので嗅ぐことができるそうだ。

ヨセミテ国立公園は氷河によって作られたヨセミテ・バレーを中心に岩峰(エル・キャピタン、ハーフドームなど)と滝(ヨセミテ・フォール、ブライダルベール)など雄大な自然が楽しめる。

ロサンゼルス北に位置するインヨー国有林には世界で一番古いブリストルコーンパインの森(日本名イガゴヨウ)があり、4,800年前の樹が最古であるとのこと(場所は秘密)。

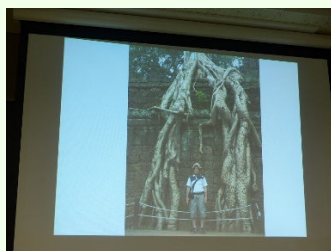


写真はジャイアントセコイアと講師、巨大さが分かる シュガーパインの巨大な松ぼっくり

・カンボジアのタ・プロームでは仏教寺院の遺跡があり、クワ科のガジュマルの根がその遺跡群に絡みつく光景が有名で遺跡と樹木の自然のどちらを守るべきか悩ましい現実があるようだ。

ミャンマーの落ちそうで落ちない不思議な岩ゴールデンロック。お釈迦様の髪の毛の力で浮いているのだそうです。

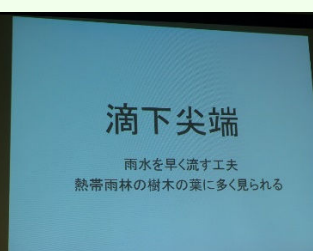
ベトナムのサイゴン動植物園では世界3大銘木のチークやマホガニーなどがある。これら東南アジアでは熱帯雨林の特徴からクワ科やマメ科の植生が目立つとのこと。



タ・プローム



熱帯雨林では雨の重みを防ぐため葉の先端が鋭くとがる



豊富な実物サンプル